

齋藤邦彦 教授

略歴と業績

略歴

齋藤 邦彦(さいとう くにひこ)

学歴

- 1973年(昭和48年) 4月 長野県立伊那北高校入学
- 1976年(昭和51年) 4月 名古屋大学農学部農芸化学科入学
- 1978年(昭和53年) 4月 名古屋大学理学部物理学科入学
- 1984年(昭和59年) 4月 名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士前期課程入学
- 1984年(昭和59年) 4月 名古屋大学大学院工学研究科情報工学専攻博士前期課程修了

学位

工学修士(情報工学)

職歴

- 1989年(平成元年) 4月 滋賀大学経済短期大学部経済学科助手
- 1989年(平成元年) 10月 滋賀大学経済短期大学部経済学科講師
- 1992年(平成4年) 4月 滋賀大学経済短期大学部経済学科助教授
- 1994年(平成6年) 10月 滋賀大学経済学部情報管理学科助教授
- 2007年(平成19年) 10月 滋賀大学経済学部情報管理学科教授
- 2016年(平成28年) 10月 滋賀大学データサイエンス学部データサイエンス学科教授

所属学会

情報処理学会/人工知能学会/ソフトウェア科学会/
情報経営学会/日本産業科学学会/ACM

非常勤講師

名城大学/愛知学院大学/中京大学/中部学院大学/愛知県立大学

社会活動

湖東圏域公共交通活性化協議会副委員長(2020年4月-2023年3月)



業績目録

著書(単著)

『Sapidによるソフトウェア解析技法』(2003年3月 滋賀大学経済学部研究叢書第38号)

著書・訳書(共著)

『データサイエンス入門』(学術図書出版会/2018年3月)

『データサイエンスの歩き方』(学術図書出版会/2022年3月)

『機械学習を中心とした異常検知技術と応用提案』(情報機構/2019年11月)

『BASIC基礎テキスト』(オーム社/1992年1月)

『経営とコンピュータ』(中部日本教育文化会/1991年6月)

『経営の組織と情報システム』(ナカニシヤ出版/2009年4月)

『ニューラルネットワークとディープラーニング』(訳書/学術図書/2022年3月)

主な論文

「Orthogonal test, determinacy test and separation property for a weak stationary time series —For Chaotic sequences and Sunspot numbers—」
(滋賀大学経済学部/Working Paper No.239/2015-10)

「Interactive Program Modularization for Software Understanding via Formal Concept Analysis」(Proceedings of 4th International Conference on Concept Lattices and Their Applications/2006-12)

「B-TREEアルゴリズムを用いたデータベースシステムのデータ処理系の開発」
(彦根論叢第260・261号/1989-11)

「多目的ゲームを用いたグループ意思決定モデル」
(オフィス・オートメーション VOL.15 NO1/1994-1,0)

「大規模ソフトウェアの概要把握支援のための動的解析結果の静的解析を用いた一元化」
(ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム論文集, volume 2013, pages 1-8/2013-8)

「ギーリス曲線の特徴とプロダクトデザインへの応用」(形の科学/形の科学会/2016-6)

「The software Evaluation Technique based on the Software Metrics — Using CASE-tool Platform Sapid」(Proceeding of the ACIS 2nd International Conference on Software Engineering Artificial Intelligence and Parallel/Distributed Computing/11-8)